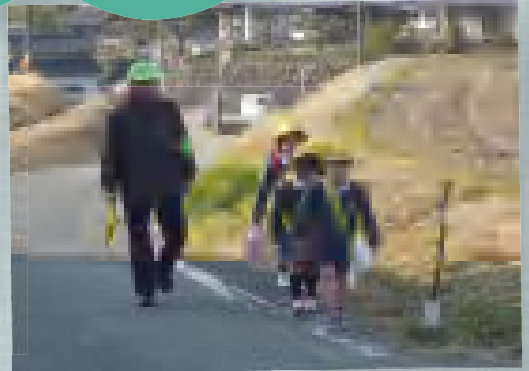


菊鹿防犯パトロール隊

市町村名 山鹿市
活動開始 平成 24 年～
参加人数 300 ～ 400 名 (平成 25 年 2 月現在)



活動を始めた きっかけ

平成 17 年に地域の中学校でのガラス割れ事案の発生、それと同時期に全国で幼児の連れ去り事件等の犯罪が頻繁に報道されている中、子どもたちの為に自分もひと肌脱ぎ、そして、地域の各団体が一丸となって総合的に子どもたちを守っていこうと、当時の教育関係・P T A 役員などが中心となり、虹の会が結成されました。当時は「菊鹿の子どもたちの健全育成」という目的で発足しました。

その後、地域では、高齢化が進み、窃盗などの犯罪も増加傾向にあったため、虹の会の防犯パトロール部を中心に、子ども中心の防犯から菊鹿地域全体の防犯を行う「菊鹿防犯パトロール隊」が発足しました。

※虹の会については巻末に説明記載

主な 活動内容

登下校時の挨拶運動

地域安全情報の提供

防犯パトロール活動



学校側とも連携を取り、生徒や児童の登下校時、通学路の横断歩道などに立ち、見守り活動をしています。

青少年の保護育成活動



毎週金曜日には青パトでの夜間定例パトロールや夏祭りの際の特別パトロール、深夜の巡回補導を行うなど、問題行為を早期発見し非行に歯止めをかけるよう努力しています。

環境浄化に関する支援活動

中学校の要望により、「見える学校づくり」と題し、中学校の北側の生垣の剪定を子どもたちと一緒にいき、学校の様子を見やすくしました。中の様子が見える学校になったことで、防犯にも繋がっています。

高齢者等地域住民の生活安全に関する活動

日常的に出来る範囲で、目配り・気配り。仕事の合間に地域を回るなど、出来る人が出来る時に無理の無い範囲で高齢者の見守り活動を行っています。



進めるポイント

菊鹿パトロール隊は、虹の会を始め、老人クラブや郵便局、JA や社会福祉協議会などを含む 10 の団体が分隊として所属しており、各分隊それぞれがそれぞれの役割を担い、連携を取りながら活動をおこなっており、先駆性を持った独自の防犯の在り方だと自負しています。



広げるポイント

ただ声をかけるだけでは防犯になりません。また、何かあってからの防犯では遅いです。

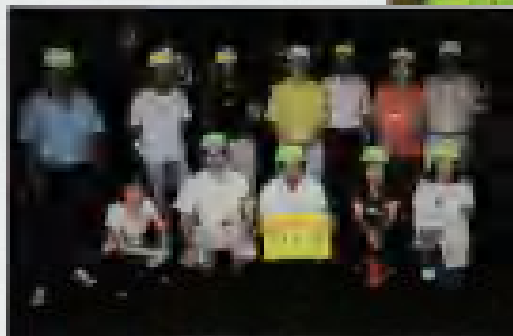
あくまでも「犯罪を防ぐ」事を念頭に、忙しい中ですが隊員同士時間を合わせ、子どもにとって何が必要かを常々考え、自分の子ども以外に対しても本気で向き合う「菊鹿流」で活動に取り組んでいます。

活動のポイント



続けるポイント

あくまでも地域の方々が主役であり、我々は「黒子」に徹する事が活動のポイントだと思います。地道な防犯活動を続けていく中で、活動の成果も感じています。警察署の方との意見交換の中でも、「山鹿市の中で、一番犯罪率が少ないのは菊鹿です」というお話があり、非常に嬉しく思っています。



今後の 課題や抱負

資金面の厳しさをどう乗り越えていくか、財源をどう生み出していくかが、今後の重要な課題となっています。取り組みとしては、日頃から懸命に活動し、きちんとした活動報告書等の資料を作っておき、提示し続けていくことで更なる信頼を得ていきたいと思っています。そのうえで、頂ける助成金などをうまく活用していくことで、活動内容の質の向上に繋がっていければと思っています。また、もっと若い世代の方達を取り込んで活動していければと思います。

私たちは、今後も活動の輪を広げ地域ぐるみで子ども達を守っていく決意です。活動の中で、地域の子どもたちと面識を持ち、「怒る補導・指導」ではなく「ふれあう補導・指導」ということで、子どもを育てていきたいと思っています。また、隊員全員が「犯罪を防ぐ」ということに関してもっと深く認識しなければいけません。

今後の構想としては、山鹿市の菊鹿以外の地域団体ともうまく連携を取り、それぞれの良い部分を共有し合うことで互いに意識の向上を目指し、協力し合いながら活動の範囲を広げていければと考えています。



虹の会 について

菊鹿パトロール隊の前身となった「虹の会」は、平成 17 年に「地域の子どもは、地域で守り育てる」を合言葉に生まれた組織です。現在は、「子どもの健全育成」のための活動を中心として活動しています。

幼児教育にあたっては、基本的な躰を、学校教育では、学力はもとより人間としての基礎・基本の体得・善悪の判断・耐える力の養成など社会人としての心得を育成することを基本に、「子どもたちと地域が共に活動する」事業を展開しています。



取材対応者 隊長 青木さん
虹の会 矢野さん